

## 平成28年度 第4回 学校運営協議会 議事録

平成29年1月19日（木）午後3時30分から午後5時 於本校会議室

### ○ 次 第

- (1) 開会のことば
- (2) 千葉県教育委員会挨拶
- (3) 校長挨拶
- (4) 日程説明（事務局）
- (5) 議事
  - ア 学校評価について
  - イ 学校からの報告
    - ① 教務部
    - ② 生徒指導部
    - ③ 進路指導部
    - ④ 総務部
  - ウ 各分科会報告（1年間の総括について）
    - ① 学習・進路指導
    - ② 生徒指導
    - ③ 小・中・高・地域連携
  - エ 質疑応答
- (6) その他
  - ア 平成29年度学校運営協議会について
- (7) 千葉県教育委員会より講評
- (8) 閉会のことば



## 1 開会のことば（教頭）

### 2 校長あいさつ

3学期はまとめの学期だ。平素、委員の皆様には御支援・御協力をいただき感謝申し上げます。おかげで、生徒たちは元気に学校生活を送っている。

1月12日から15日まで、匝瑳市八日市場公民館市民ギャラリーにて、東総地区7校合同美術展が開催された。そのパンフレットに各学校ごとのあいさつ文が載せられていた。本校については、2年生の美術部員の「コミュニティ・スクールの美術部」と題した文章が載っていた。日ごろ地域の方々が声をかけてくださるので、大変励みになっている。そういった内容であった。

コミュニティ・スクールの指定は、再指定を併せて5年目になる。コミュニティ・スクールの成果が生徒たちにも浸透していることを感じるエピソードであった。

本日は今年度最後の協議会である。有意義な協議をお願いしたい。

### 3 千葉県教育委員会あいさつ（生涯学習課学校・家庭・地域連携室）

委員の皆様をはじめ、地域の方々のおかげで取組が発展している。校長をはじめ職員の尽力に感謝している。再指定を含めて5年間、地域との協力、小中学校との連携が様々な形で展開されてきた結果、生徒の様子に落ち着きがみられてきたと伺っている。

前回の協議会の際には、睦沢町の小学校再編準備協議会委員の皆様が、コミュニティ・スクール導入の検討にあたり、視察にみえた。まさに多古高校は、コミュニティ・スクール促進に資する大きな役割を果たしている。

本日も活発な協議になることを期待している。

## 4 日程等説明（教頭）

### 5 議事

#### （1）学校評価について（教務主任）

学校評価アンケートをまとめた冊子を配付した。12月中旬に実施した。アンケート用紙については、前回の協議会において示した。保護者の回答率は58.3%で、ここ数年増加している。

3ページに、各設問ごとに達成度を点数化し、達成度が上位の設問と下位の設問をまとめてある。

まず、生徒に対するアンケートの結果、授業や学習に関する設問が下位になっている。各学期末に実施した「授業評価」においては、割と良い評価を得ている。それにも拘わらず学力向上に結びついていないという評価の現れなのかも知れない。今後、さらなる

授業力向上が課題であろう。

次に、保護者に対するアンケートにおいて、「情報」に関する評価が低いことについて。これまで、ホームページの改善に取り組んできたが、それだけでは不十分であり、今後は保護者向け新聞の発行も課題となるのではないか。学校から発信する情報が保護者に確実に届けられるような仕組みづくりが必要である。

最後に、職員に対するアンケートでは、教育相談などの「悩み相談」についてよく取り組んでいるという評価がある。学校カウンセラーの配置もある。しかし、生徒や保護者はよく取り組んでいると捉えていないようだ。生徒や保護者に対する寄り添い方を工夫すべきか。

(質疑応答)

○保護者や生徒に対して、アンケート結果をどのように公表するのか？

●学校ホームページに載せる予定である。

○保護者はどのような情報を欲しがっているのか。意見はあるのか？

●アンケート用紙のコメント欄には、具体的な意見はなかった。

○「多古高校かわら版」は、生徒を通じて保護者に配布されるのか？

●「多古高校かわら版」は、多古町から助成金をいただき発行している。町内に配布されたり、近隣の中学校に配布されている。予算の都合上、生徒全員には配布していない。「多古高校かわら版」と同様な内容の記事は、PTA広報に載せている。多古町在住でない生徒・保護者への「多古高校かわら版」の配布については今後検討したい。

(2) 学校からの報告

①教務部

3学期は、教科・科目の学習のまとめをしっかりとやらせたい。3学年は、2月2日から自宅学習期間に入る。

②生徒指導部

毎朝のあいさつ運動のおかげで、生徒は全体的にあいさつがよくでき落ち着いているという評価をいただいている。

実用英語検定準1級の受験をする2年生がいる。本校では初めてではないだろうか。冬季休業中、多くの部活動が活発に活動していた。今後の発表会や大会等での活躍を期待したい。

③進路指導部

保護者に対する学校評価アンケートの結果、進路に関する情報がうまく伝わっていない

いとの評価が出た。重く受け止めている。各学年のフロアーに、求人情報や進学情報を適時的に掲示している。進路指導室や進路資料室も整えている。さらに、毎月、進路通信を発行している。それらが、なかなか保護者に伝わっていない状況があるのだろう。情報の伝え方を工夫していきたい。

現時点までの3年生の、進路決定状況は資料のとおりである。就職について。企業就職は全体的にうまくいった。残念ながら、公務員合格は現在までで1名だけ。進学について。例年人気のある指定校推薦の利用が少なかった。

#### ④総務部

各種の発行物を出しているが、記事収集が課題である。学校運営協議会の議事録等を発行物に載せることも検討していきたい。

〈質疑応答，意見〉

○指定校推薦の利用が例年に比べ少なかったということだが、その背景は？

●資料にあるように、大学等の進学決定先の学科や分野をみると、指定校推薦をいただいた大学・学部・学科については、今年度3年生の進学希望者の希望に適さなかったということがわかる。

○「多古高校かわら版」を学校ホームページに載せることはできないのか？

●検討したい。

(3) 各分科会報告（1年間の総括について）

#### ①学習・進路指導

- ・6月・10月の授業参観の際、生徒たちがいきいきとしていたことが印象的であった。進路ガイダンスも見したが、とてもよかった。
- ・多古第一小学校や多古こども園で、図書委員が本の読み聴かせをした。吹奏楽部は、多古中学校の吹奏楽部と合同で、ウインターコンサートを行ったり、消防の出初め式で演奏したりした。2月には多古町の「人権を考える会」において、3月には千葉県警の交通安全のイベントで演奏をすることになっている。地域と、とてもよい交流をしている。

#### ②生徒指導

- ・あいさつ運動について、今年度はこれまでのべ1,163人、一日平均7.7人の方が参加してくれた。生徒たちは、目を合わせてあいさつできるようになっている。あいさつだけでなく、励ましの声をかけるようにしている。地域の高齢者の方々から、多古高生はよくあいさつをしてくれるという言葉をいただく。こうした取組を始めて、丸4年が経とうとしている。

### ③小・中・高・地域連携

- ・吹奏楽部，図書委員，生産流通科の活動等，地域の連携が進み，活発になっている。
- ・多古町あげての吹奏楽バンドの結成を目指したい。
- ・今後も「多古高校かわら版」を充実させていきたい。

### 6 教育委員会より講評（生涯学習課学校・家庭・地域連携室）

多古高校が，コミュニティ・スクールとして着実に前進していることが窺える。あいさつ運動，小中学校との連携，マレーシアのセリ・ハタマス校との交流，そして部活動の活躍等，多くの成果が挙げられる。

前回の学校運営協議会からの帰りに，バスを利用した。多古高校の生徒も一緒であった。停留所に着いた時，多古高校の生徒の一人が，他の仲間たちがバスから降りようとするのを手で制して，「他の方が降りてから」と譲ってくれた。とても清々しい気持ちが出た。多古高校が地域とのつながりを大切にしていることの現れではないだろうか。

多古高校の活躍は地域を元気にする。コミュニティ・スクールとしてますます発展することを願っている。

### 7 閉会のことば（教頭）

以上